

シンポジウム：『アメリカ 1890 年代—世紀末の苦悩と混乱

— < 昇り詰める者たち > と < 這いずり蠢く人たち > 』

移民状況について（1890 年代まで）

河内裕二（明星大学）

1. アメリカ移民史における「旧移民」と「新移民」

「旧移民」

建国から 1880 年代までの移民。西・北ヨーロッパからの移民。イギリス、アイルランド、ドイツ、北欧。1840 年代からアイルランド移民、ドイツ移民が増える。

「新移民」

19 世紀末から 20 世紀初頭にかけて急増した南・東ヨーロッパからの移民。イタリア人、ユダヤ人、ポーランド人。1880 年代からイタリア移民、ユダヤ移民が徐々に増え始め、20 世紀初頭に激増。

2. 移民は何を求めてアメリカにやって来たのか。

移民統計から見えてくるもの。

3. 移民後の生活

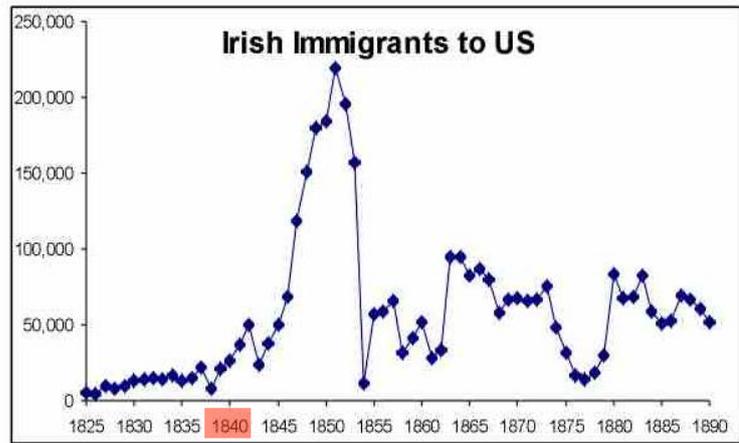
移民局（キャッスル・ガーデン 1855 年から 1890 年。1892 年よりエリス島に移る。）貧しい移民はニューヨークのロウアーサイドのテネメントに住む。人口過密。劣悪な住・労働環境。病気や犯罪の温床。Tenement House Act (1867, 1879, 1901)。

4. Jacob Riis, *How the Other Half Lives* (1890)（『向こう半分の人々の暮らし』）

「社会を変えた」一冊の本。中産階級の人々の知らないテネメントの実態とそこに生きる最下層の人々の生活を描いたノンフィクション作品。当時まだ珍しかった写真を取り入れた写真ジャーナリズムで世の中に改革を訴えた。Jacob A. Riis (1849-1914) は 1870 年にデンマークからアメリカに移住。大企業の不正や政界の腐敗を暴いた 20 世紀初頭のマックレーカーズ (Muckrakers) の先駆的存在。

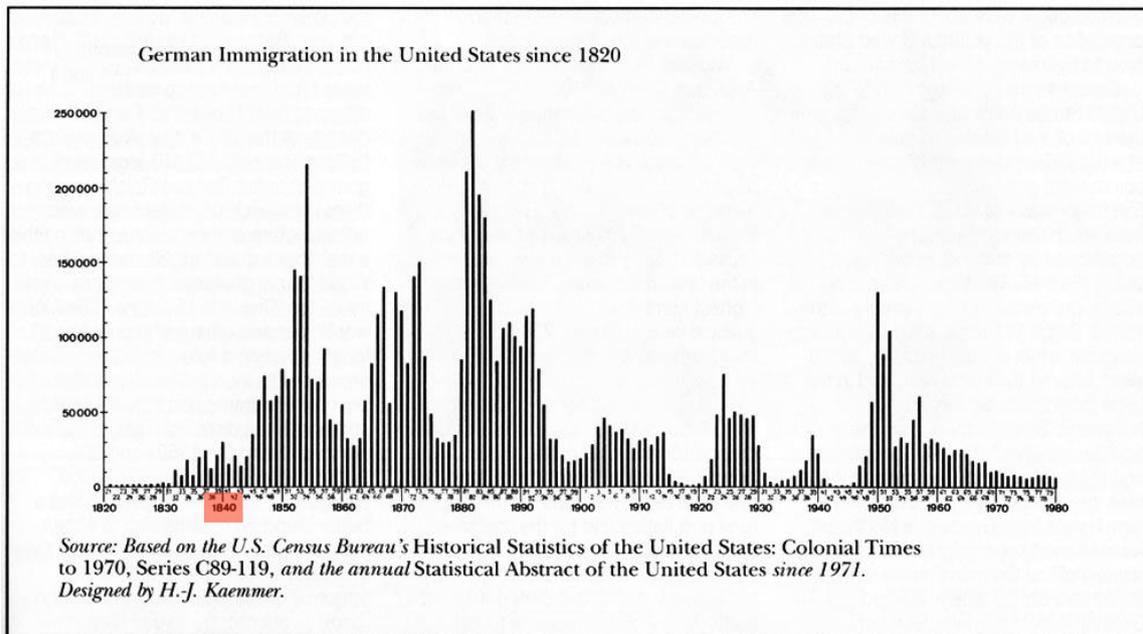
[資料]

(1) アイルランド移民の推移 (1825-1890)



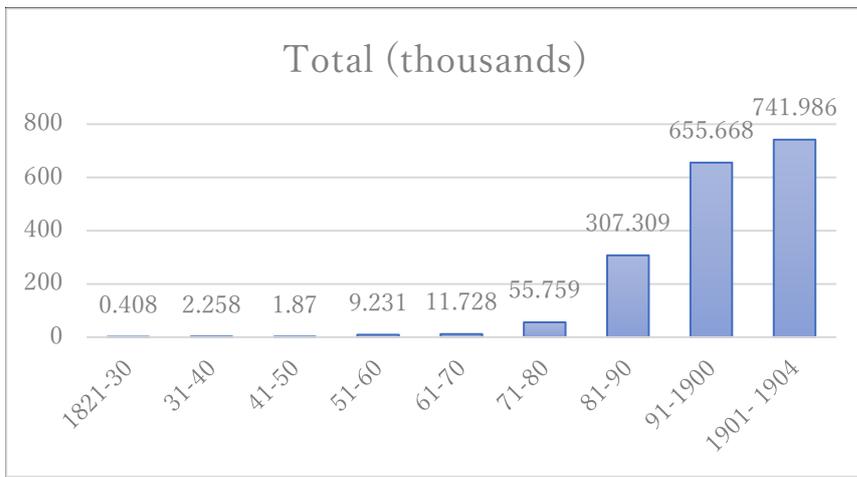
Irish immigration to the U.S. in the 1800s http://freepages.genealogy.rootsweb.ancestry.com/~dgarvey/Garvey_us_census/half_pass.html

(2) ドイツ移民の推移 (1820-1980)

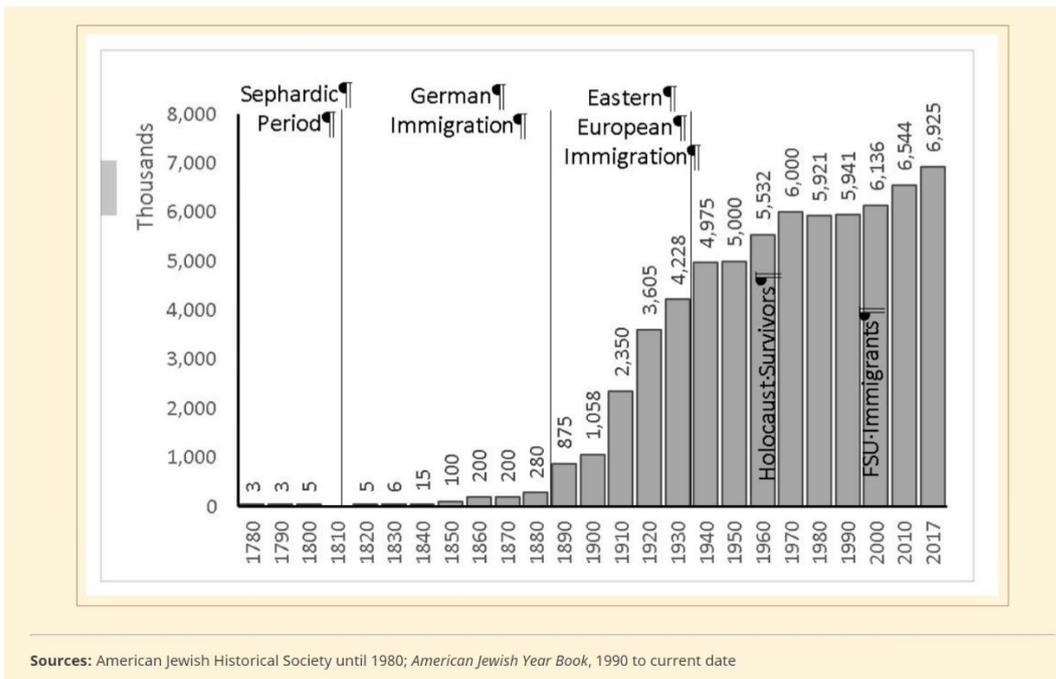


(3) イタリア移民の推移 (1821-1904)

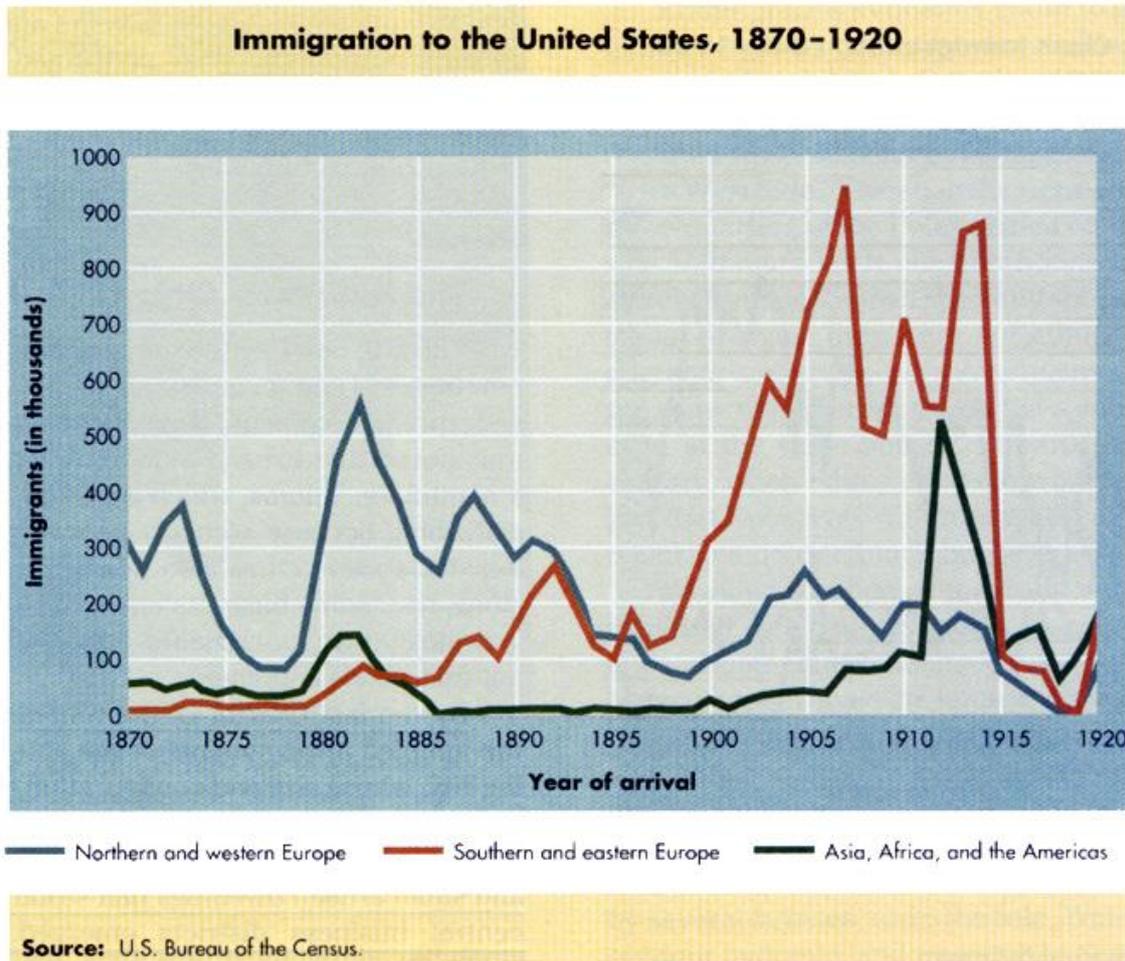
Decades	Total	Yearly Average	Percentage
1821-30	408	41	0.25
1831-40	2,258	226	0.37
1841-50	1,870	167	0.09
1851-60	9,231	923	0.17
1861-70	11,728	1,173	0.50
1871-80	55,759	5,576	1.98
1881-90	307,309	30,731	5.85
1891-1900	655,668	65,567	17.05
1901-4	741,986	185,496	27.86
1821-1904	1,786,217		



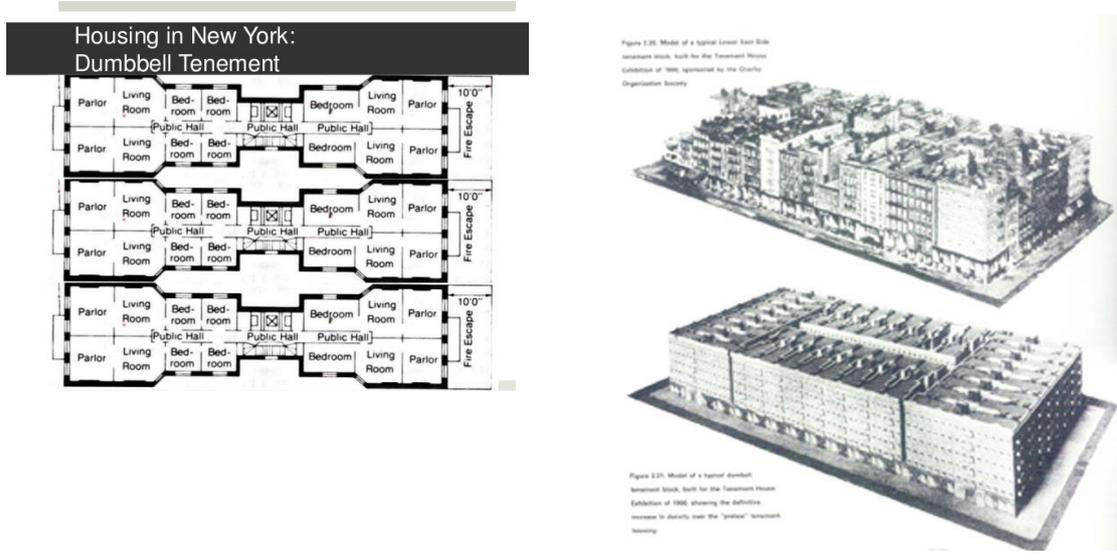
(4) アメリカのユダヤ人口の推移 (1820-1980)



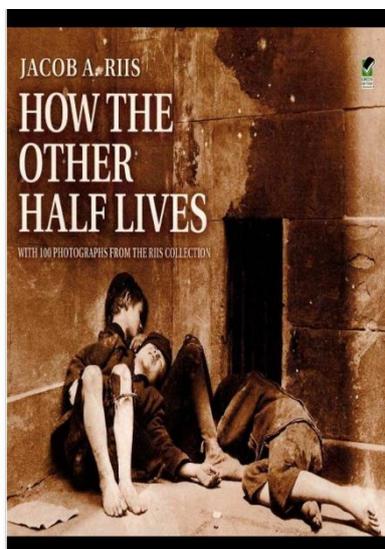
(5) 移民数の変遷 (1870-1920)



(6) テネメント (Tenement House Act 1879 後)



4. Jacob Riis, *How the Other Half Lives* (1890) (『向こう半分の人々の暮らし』)



1971年に Dover Books から出版された版。

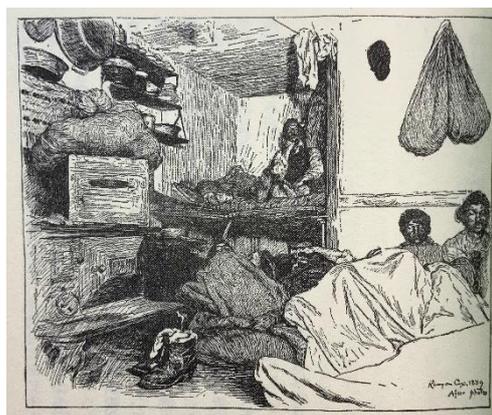
(オリジナルの写真が多数収録されている。)

(Jacob Riis, *How the Other Half Lives*, Dover Edition published 1971)

[収録されている写真]



Lodgers in a crowded Bayard Street tenement—"five cents a spot"



写真を絵にしたもの

初版出版時の印刷技術では写真が鮮明に印刷できないため挿絵が使われた。



Room in a tenement, 1910

An old rear tenement in Roosevelt Street



Necktie workshop in a Division Street tenement, 1889

